

共生型ふれあい いきいきサロン 3あいお茶飲み会



【千石学区】

■世帯数：3,385 世帯

■人 口：6,685 人

■面 積：0.599 k m²

平成 26 年 7 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- 千石コミュニティセンターで毎週 1 回火曜日に開催している「共生型ふれあいいきいきサロン」にて、高齢者と子育て中の親子が交流することを目的に「3 あいお茶飲み会」を開催。同じフロアで 3 世代が集える昔の家族の姿をイメージし、「3 あい」は「であい・ふれあい・ささえあい」から来ている。
- 平成 24 年で 10 年目を迎え、参加者数は毎回約 100 人。
- 小物づくりや楽器の演奏、保健師による講座に加え、ひなまつりやクリスマスなどの季節行事も盛り込んでいる。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、毎月の学区連絡協議会の会議での呼びかけ

【アピールポイント】

平成 24 年 5 月で 10 周年を迎え、コミセン祭りにおいて、学区内住民でお祝いできた。高齢者と子育て中の親子が毎週来たくなるお茶飲み会を開いている。

2 きっかけ、背景

高齢化が進み、サロン会場がなく困っていたところ、平成 14 年に千石コミュニティセンターが開所し、毎週火曜日に「共生型ふれあいいきいきサロン」が開

催されることとなった。高齢者の地域での孤立を防ぎ、子育て世代の仲間づくり支援と不安感をなくすため、高齢者と子育て世代の交流を推進し、千石学区に住んでよかったと感じてもらえるよう、「3 あいお茶飲み会」を開催することとした。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、消防団員、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、ボランティア
計約 15 人（毎週）

(2) 他団体との協力

民政委員児童委員が中心となり、区政協力委員、学区連絡協議会が協力。また、5 人のボランティアが毎週の会場準備等に協力している。

(3) 運営協力

学区連絡協議会の各団体が当番制で毎週運営を行う。

4 実施のスケジュール

H14 年 千石コミュニティセンター開所、
4 月 サロン開設

H17 年 全国児童大会にて発表、全国社会福祉協議会の取材を受ける。その後、他県からも複数の見学が訪れる。
2 月

H26 年 サロン 600 回を祝う
8 月

5 成果と課題

(1) 成果・効果

住民間の交流の深まり。毎回高齢者（女性約 40 人、男性約 15 人）、親子約 50 人が集いととても楽しいと好評を得ている。

(2) 苦労した点

参加者の確保、活動の担い手不足、他団体との協力。最初から運営等での役割分担をしっかりとしたことにより継続開催できている。

(3) 今後の課題・展望

地域の役員、民生委員児童委員とともに協力しあえば、今後も継続開催できると思う。

(4) メッセージ・アドバイス

地域ぐるみで委員長と話し合いながら進めることが必要。